

2. 施設及び燃原料 (1施設毎に記入して下さい)

(1) 施設について

B0	施設番号	工場・事業場における施設名称等

A0	年度	市町	事業場	施設番号	工場・事業場名

(注) 登録済みの施設番号は変更できません。

B1	施設種別	施設	設置年月	設置規模	将来廃止予定年月
	法等区分	条例	区分	届出ベース	単位

色のセルに入力をお願いします。

B2	1時間当り最大排出ガス量(湿り) [Nm <sup>3</sup> /h]	前期(4月~11月)間の排出ガス量(湿り) [1000Nm <sup>3</sup> ]	後期(12月~3月)間の排出ガス量(湿り) [1000Nm <sup>3</sup> ]	測定状況	年度間の排出ガス量(乾き) [1000Nm <sup>3</sup> ]	平均酸素濃度 [%]	平均水分 [%]	操炉状況					
								前期(4月~11月)			後期(12月~3月)		
								操炉時間 [h]	1日における操炉状況		操炉時間 [h]	1日における操炉状況	
								始	終	始	終		
								時	分	時	分	時	分

生産量	製造形態	最大生産量(1時間又は1ハッチ当り) (固体又は液体製品kg、気体燃料Nm <sup>3</sup> )	年間生産量(固体又は液体製品ton、気体燃料1000Nm <sup>3</sup> )	主要製品名	燃料種別	製品としての燃料の供給先の施設番号(自社内のみ)

3. 月別稼働日数(1施設毎に記入して下さい)

H0	前期(非暖房期)						後期(暖房期)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

(2) 煙突について

煙突毎	煙突形態	煙突番号	ガ各煙分配への割合	煙突位置						高さ [m]	口径 [m]	排ガス湿度 [°C]	煙突群記号	空気余熱有無
				東経			北緯							
				度	分	秒	度	分	秒					

(注) 登録済みの煙突番号は変更できません。

(3) ばい煙対策について

連続測定状況	ばい煙濃度 SOx[ppm] NOx[ppm] ばいじん [mg/Nm <sup>3</sup> ]	算出の区分	ばい煙の1時間当り通常排出量 SOx[Nm <sup>3</sup> /h] NOx[Nm <sup>3</sup> /h] ばいじん[kg/h]	前期(4月~11月)におけるばい煙排出量 [kg]	後期(12月~3月)におけるばい煙排出量 [kg]	除去低減対	製品脱硫効率 [%]	処理施設番号	処理施設種類	処理能力 [Nm <sup>3</sup> /h]	効率 [%]	稼働時間 [h]

(4) 燃原料について

燃料	原料	種別	硫黄分(年度間の加重平均値) [%]	窒素分(年度間の加重平均値) [%]	比重(年度間の加重平均値)	高発熱量(年度間の加重平均値) (kcal/kg, kcal/Nm <sup>3</sup> )	1時間当り最大燃原料使用量(届出ベース) 液体[L], 気体[Nm <sup>3</sup> ], 固体[kg], 電気[kWh]	1時間当り通常燃原料使用量(届出ベース) 液体[L], 気体[Nm <sup>3</sup> ], 固体[kg], 電気[kWh]

(種別が19, 25, 46の場合、燃原料の具体的名称)

F0	2022 年度 (実績)											
	前期(4月~11月)における燃原料使用量 液体[kL], 気体[1000Nm <sup>3</sup> ], 固体[t], 電気[1000kWh]						後期(12月~3月)における燃原料使用量 液体[kL], 気体[1000Nm <sup>3</sup> ], 固体[t], 電気[1000kWh]					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

G0	2022 年度(実績)	2023 年度(計画)	2024 年度(計画)
	合計	年度間燃原料使用量	年度間燃原料使用量
	液体[kL], 気体[10×3Nm <sup>3</sup> ], 固体[t], 電気[10×3kWh]	液体[kL], 気体[10×3Nm <sup>3</sup> ], 固体[t], 電気[10×3kWh]	液体[kL], 気体[10×3Nm <sup>3</sup> ], 固体[t], 電気[10×3kWh]